

福祉ボランティアセンターだより

発行 社会福祉法人中津川市社会福祉協議会 福祉ボランティアセンター

第27号

第二中学校が福祉講座を実施

中津川市立第二中学校では福祉出前講座を利用し、二年生の生徒165人が「人と人の支え合い」をテーマに「手話講習会」「点字講習会」「高齢者擬似体験」の3つの授業を行いました。今回の講習会には、社協登録ボランティア（手話サークルかやの実会、点訳サークルともしび会、中津川シニアボランティア）に講師として協力いただきました。今後は、この体験を活かし、福祉施設への訪問活動を実施する予定です。

★参加者の声★

◎点字

とても難しかった。講座の後、自分の身近な所に点字があることに気付けた

◎手話

自己紹介と挨拶ができるようになった。楽しく学ぶことができてよかった

◎

（高齢者に対して）動きにくい生活をしていると思うのではなく、何ができるかを考えていきたい



▲高齢者擬似体験



▲手話での会話を学びました。

視覚障がい者外出サポート講習会を開催

6月24日、にぎわいプラザで、視覚障がい者に対する正しい理解と視覚障がいを持つ方への外出サポート技術を学ぶ『視覚障がい者外出サポート講習会（基礎編）』を開催しました。

17回目となる今回も、「岐阜アソシア・視覚障害者生活情報センター」から視覚障害歩行訓練士の棚橋公郎氏を講師に招き、一般市民やボランティアなど17人が参加しました。

目かくしをして食事体験

★参加者の声★

・料理を見て食べないと味が感じられなかった。

・五感全てを使い食事をしていざだと改めて感じました。

・サポートする側としては、食べ物に関する情報をできるだけ多く伝えることが大切だと感じました。

外出サポートの実践

★参加者の声★

・サポートされる側に立つてみて援助者の声を温かく感じました。

・言葉を整理し、シンプルに声かけをすることが必要だと思いました。

・サポートする側としては言葉で伝えることの難しさに直面しました。



▲アイマスクを着けての食事体験



▲サポートする側とされる側を交互に体験

福祉推進校事業活動紹介

神坂幼稚園

園児と老人クラブをつなぐ 流しそうめん交流会



6月24日神坂幼稚園で、園児と神坂・馬籠地区老人クラブとの流しそうめん交流会が行われ46人が参加しました。

「自分で使う物は自分で作ろう!」ということで、竹で箸・器・流し台を作りました。その後みんなで食べた流しそうめんは「いつもよりおいしく感じられました。」などの感想がありました。



▲いっしょに箸や器をつくりました。



▲涼しげにそうめんが流れます。

ボランティア活動紹介

『中津川シニアボランティア』の活動

社協主催、シニアボランティア養成講座受講者で組織される登録ボランティア団体「中津川シニアボランティア」では、会員の質向上をはかるため、勉強会等を行っています。

今回は、障がいがある方への理解を深めるための勉強会や福祉施設見学を行いました。参加者のみなさんは、色々な質問をするなど、熱心に取り組んでいました。



▲知的障がい者へのボランティア活動に関する勉強会

★参加者の声★
◎現場でのご苦労をお聞きし、皆さんの心のもった自主製品の販売に協力するため、今後は更に連携していきたいと感じました。



▲障がい者就労支援事業所かじもの見学

★参加者の声★
◎普段施設などでボランティアを行う際、不慣れなため何を行うにも戸惑うが、しっかりと知識を得てボランティアに取り組めたら自分も相手も安心だと感じました。



絆を深める旅

バスに揺られて
三者交流会

中津川市視覚障害者協会と支援ボランティア団体の音訳ボランティアさざなみ会・点訳サークルともしび会・点訳サークルよつばの会が、情報交換と親睦を目的に、日帰りバス旅行「三者交流会」を開催しました。

平成4年から始まったこの交流会は今年で18回を数え、36人が参加して、和気あいあいと彦根城を訪れました。



★参加者の声★
◎足場が悪かったのですがいつも以上にコミュニケーションを大切に出来た。
◎彦根城四百年の歴史を手で触り感じて来られたのでよかった。
◎渋滞にはまりバスの中で過ごす時間が多かったおかげで沢山話ができてよかった。
◎三者で過ごす時間はとても貴重なので続けて行きたいと感じました。

▼▶雨の彦根城にて

